

# 難治性の帯状疱疹後神経痛

帯状疱疹は大人に限らず小児でも見られるようになってきました。季節の変わり目で体調を崩した際に帯状疱疹を発症している方を見かけることも少なくありません。

皮膚科や内科で抗ウイルス薬の内服、外用薬の処方を受け経過良好の方がいる一方、急性期を過ぎても皮疹が治まらない、神経痛が持続するケースも見受けます。

プレガバリン（25mg）などの内服で全く効かない上に、めまいがある、フラフラする、眠くなる、元気がなくなる等の副作用が多く出ている例も出会いました。

そこで漢方薬を駆使して、症状の改善に挑戦してみます。



## 慢性期 帯状疱疹後神経痛

①自発痛 → 皮疹部位が何の刺激も受けないのに、ピリピリ、ジクジクと痛みを生じる

→ 桂枝加朮附湯 + 四物湯

肩より上部なら、葛根加朮附湯に変更する

②アロディニア → 服が触れるなどの軽い刺激や痛みを誘発する

→ 六味丸 + 麦門冬湯

## ヒント

患者さんの交感神経の興奮が治療の邪魔をしているのではないかな？

### 1. 加味逍遙散

対象は女性、他罰的発言が多い、訴えが多い、月経関連症状（イライラ、冷え、便秘など）を伴う。

### 2. 抑肝散

「イライラしている？」と聞いて「イライラしている」と答えるなら使える。  
家庭内、学校、職場で被抑圧的な立場にあって、言いたい事を言えずに、抱えるストレスを発散できずにしている怒りがある。

## 神経障害の程度が深い症例

十味劉散 を試します

→ エキス剤にはないので組み合わせで作ります

オススメ

≡ 大防風湯 + 桂枝茯苓丸 + ブシ末  
(アコニンサン錠もあり)

※これに上肢なら葛根加朮附湯  
下肢なら牛車腎気丸 } を加えて処方します。

※抗ウイルス薬の併用はかまいません。

## Virome (ヴァイローム：ウイルス叢)

脳	ヘルペスウイルス (HSV)
	コロナウイルス (HCoV-229E)
心臓	アデノ随伴ウイルス (AAV-2)
	コロナウイルス (HCoV-229E)
肝臓	C型肝炎ウイルス (HCV)
	ヒトヘルペスウイルス (HHV-6B)

胃	ヘルペスウイルス (HHV-7)
	RSウイルス (RSV)
大腸	ヘルペスウイルス (EBV)
	ヘルペスウイルス (EBV)
血液	ヘルペスウイルス (EBV)
	サイトメガロウイルス

など

左表に示すように、少なくとも39種のウイルスが体内に住みついていることがわかりました。  
さらに、これらのウイルスが免疫細胞の一種であるB細胞を活性化させて、カラダの免疫状態を調節していることが判明しました。  
またこれからの研究により、解明されていないウイルスと人体の関係が明らかにされていくでしょう。